

平成25年度

神崎市 財務4表『単体』

【基準モデル】

「単体」…………… 神崎市では、一般会計の他に、国民健康保険事業特別会計、国民健康診療所特別会計、後期高齢者医療特別会計、簡易水道特別会計、下水道事業特別会計の5つの特別会計があります。
「単体」とは、これら全ての会計を一本化し、神崎市全体分として捉え作成した財務4表です。

「基準モデル」…………… 民間企業会計の会計事務と考え方を基に、地方自治体の特殊性を加味した財務書類で、開始貸借対照表を固定資産台帳に基づき作成し、現金の取引情報(歳入・歳出)に止まらず、全てのフロー情報(収益・費用・純資産の内部変動)及びストック情報(資産・負債・純資産の期末残高)を網羅的に公正価値で把握した上で、個々の取引情報を発生主義により複式記帳して作成することを前提としたものです。これにより、より精緻な財務諸表の作成が可能となります。

平成27年4月
神崎市総務企画部財政課

神埼市 平成25年度財務諸表

① 単体 貸借対照表(BS…Balance Sheet)

(単位:千円)

【資産の部】	金額	【負債の部】	金額
1. 金融資産	7,926,243	1. 流動負債	5,476,107
資金	861,555	未払金及び未払費用	3,267,207
金融資産(資金以外)	7,064,688	前受金及び前受収益	
債権	408,710	賞与引当金	108,451
税等未収金	364,615	賞与引当金	108,451
未収金	46,796	預り金(保管金等)	33,936
貸付金	15,645	公債(短期)	2,066,513
その他の債権		短期借入金	
(控除)貸倒引当金	△ 18,346	その他の流動負債	
有価証券	1,000	2. 非流動負債	22,214,077
投資等	6,654,978	公債	19,855,052
出資金	652,725	借入金	
基金・積立金	5,973,686	責任準備金	
財政調整基金	2,383,350	引当金	2,359,025
減債基金	597,838	退職給付引当金	2,359,025
その他の基金・積立金	2,992,498	損失補償等引当金	
その他の投資	28,567	その他の引当金	
2. 非金融資産	85,013,676	その他の非流動負債	
事業用資産	31,257,159	負債 合計	27,690,184
有形固定資産	30,948,066	【純資産の部】	金額
土地	17,223,892	財源	907,471
立木竹	235,511	資産形成充当財源(調達源泉別)	15,741,381
建物	12,436,113	税収	
工作物	408,530	社会保険料	
機械器具	106,517	移転収入	
物品	167,525	公債等	
船舶		その他の財源の調達	14,863,514
航空機		評価・換算差額等	877,867
その他の有形固定資産		その他の純資産	48,600,883
建設仮勘定	369,978	開始時未分析残高	48,600,883
無形固定資産	309,093	その他の純資産	
地上権		純資産 合計	65,249,735
著作権・特許権	1,643		
ソフトウェア	190,865		
電話加入権			
その他の無形固定資産	116,585		
棚卸資産			
インフラ資産	53,756,517		
公共用財産用地	26,473,181		
公共用財産施設	26,960,300		
その他の公共用財産			
公共用財産建設仮勘定	323,036		
繰延資産			
資産 合計	92,939,919	負債及び純資産 合計	92,939,919

○貸借対照表について

貸借対照表は、会計年度末(基準日)時点で、神崎市がどのような資産を保有しているのか(資産保有状況)と、その資産がどのような財源で賄われているか(財源調達状況)を表示した財務書類です。貸借対照表により、基準日時点における神崎市の財政状態(資産・負債・純資産の残高)が明らかにされます。

【資産】

資産とは、将来の収益を生み出すために保有する資金等です。市が保有している預金、有価証券、土地、建物等の財産や、ソフトウェアなどがそれにあたります。

【負債】

負債とは、将来、債権者に対する支払いや返済により神崎市から資金流出をもたらすものであり、地方債がその主たる項目です。その他、職員の退職給付引当金等が該当します。

【純資産】

純資産とは、資産と負債の差額です。従来からの市の活動によって作り出してきたものであり、市税、地方交付税、国庫補助金など将来の資金流出を伴わない財源や、資産評価差額などが計上されます。

○神崎市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

平成25年度末の「資産合計」は929億円です。「資産合計」のうち、91.5%を占めているのが非金融資産であり、その内訳を見てみると、庁舎や学校などの事業用資産が313億円、道路や公園、下水道施設などのインフラ資産が538億円となっています。

「負債合計」は277億円。そのうち地方債が199億円で全体の71.7%を占める状況にあります。

「純資産合計」を「総資産合計」で割った純資産比率は、平成24年度末が69.6%でありましたが、平成25年度末には、70.2%となりました。

○貸借対照表による主な財政分析

■ 市民一人当たり資産額

市民一人当たり資産額＝資産合計／住民基本台帳人口

H24年度＝918億34百万円／33,017人＝2,781千円

H25年度＝929億40百万円／32,801人＝2,833千円

■ 純資産比率

純資産比率＝純資産合計／資産合計

H24年度＝640億円／918億円＝69.6%

H25年度＝652億円／929億円＝70.2%

※資産合計のうち、純資産の占める割合を示します。純資産比率が高いほど将来世代の負担軽減が図られているといえます。

■ 市民一人当たり負債額

市民一人当たり負債額＝負債総額／住民基本台帳人口

H24年度＝278億73百万円／33,017人＝844千円

H25年度＝276億90百万円／32,801人＝844千円

神崎市 平成25年度財務諸表

② 単体 行政コスト計算書(PL…Profit and Loss statement)

(単位:千円)

【経常費用】	金額
1. 経常業務費用	7,321,879
①人件費	2,480,472
議員歳費	87,696
職員給料	1,360,984
賞与引当金繰入	108,451
退職給付費用	57,519
その他の人件費	865,822
②物件費	2,627,956
消耗品費	248,428
維持補修費	1,419,536
減価償却費	753,756
その他の物件費	206,236
③経費	1,769,263
業務費	15,793
委託費	1,482,595
貸倒引当金繰入	18,346
その他の経費	252,529
④業務関連費用	444,188
公債費(利払分)	319,231
借入金支払利息	254
資産売却損	805
その他の業務関連費用	123,898
2. 移転支出	8,782,667
①他会計への移転支出	
②補助金等移転支出	7,007,906
③社会保障関係費等移転支出	1,746,316
④その他の移転支出	28,445
経常費用 合計	16,104,546
【経常収益】	金額
1. 経常業務収益	1,034,529
①業務収益	798,521
自己収入	775,873
その他の業務収益	22,648
②業務関連収益	236,008
受取利息等	10,630
資産売却益	
その他の業務関連収益	225,378
経常収益 合計	1,034,529
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	15,070,017

○行政コスト計算書について

行政コスト計算書は、資産形成に結びつかない経常的な行政活動に係る費用(経常費用)と、その行政活動の成果として受け取る使用料、手数料などの収益(経常収益)を表示した財務書類です。これにより、神埼市の行政活動のうち、資産形成に結びつかない経常的な活動について税収等で賄うべき「純経常行政コスト」が明らかにされます。

【経常費用】

経常費用とは、市が行政活動の成果を生み出すために支払う経常的な費用をいいます。人件費、庁舎等の光熱水費、道路や施設の維持補修費、また、下水道事業など特別会計への繰出金等が計上されます。

【経常収益】

経常収益には、使用料、手数料、財産貸付収入のほか預金利息等が計上されます。なお、市税等の税収については、収益としてではなく市民からの拠出として捉えるため純資産として計上します。よって、経常収益には含まれておりません。

○神埼市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

平成25年度の行政活動に要した「経常費用」は161億円です。その内訳を見ると補助金等の移転支出が70億円で44%を占めています。また、公債費(利払分)が3億2千万円と高い金額となっております。それに対し「経常収益」が10億3千万円。「経常費用」から「経常収益」を差し引いた151億円が「純経常行政コスト」となります。

なお、この「純経常行政コスト」は、純資産変動計算書において純経常費用への財源措置として計上され、行政活動が、市税や地方交付税等の税収により賄われていることが示されています。

○行政コスト計算書による主な財政分析

■ 市民一人当たり行政コスト

市民一人当たり行政コスト＝純経常行政コスト／住民基本台帳人口

H24年度＝151億21百万円／33,017人＝458千円

H25年度＝150億70百万円／32,801人＝459千円

■ 行政コスト対公共資産比率

行政コスト対公共資産比率＝

経常費用／公共資産(※貸借対照表中、有形固定資産、インフラ資産の合計)

H24年度＝161億円／843億円＝19.1%

H25年度＝161億円／847億円＝19.0%

※公共資産に対する行政コストの割合を示します。比率が高いほど資産が有効に活用されているといえます。

■ 性質別行政コスト(単位:億円)

項 目	H24	H25
人件費(職員給与、議員報酬及びその他の人件費)	26	25
物件費(消耗品や備品の購入、施設の維持補修費等)	25	26
経費(施設の維持管理委託料や保険料等)	17	18
業務関連費用(市債の利払分など)	5	4
移転支出(他会計繰出金、団体個人への補助・交付金、扶助費等)	88	88
合 計	161	161

神埼市 平成25年度財務諸表

③ 単体 純資産変動計算書(NWM…Net Worth Matrix)

(単位:千円)

前期末残高	63,960,887
I. 財源変動の部…(ア)	372,012
1. 財源の使途	18,475,644
①純経常費用への財源措置	15,070,017
②固定資産形成への財源措置	1,873,240
事業用資産形成への財源措置	681,844
インフラ資産形成への財源措置	1,191,396
③長期金融資産形成への財源措置	689,757
④その他の財源の使途	842,630
直接資本減耗	842,630
その他財源措置	
2. 財源の調達	18,847,656
①税収	3,694,352
②社会保険料	1,097,953
③移転収入	12,360,421
他会計からの移転収入	
補助金等移転収入	10,387,487
国庫支出金	9,128,834
都道府県等支出金	1,258,653
市町村等支出金	
その他の移転収入	1,972,934
④その他の財源調達	1,694,930
固定資産売却収入(元本分)	2,046
長期金融資産償還収入(元本分)	96,498
その他の財源調達	1,596,386
II. 資産形成充当財源変動の部…(イ)	2,073,745
1. 固定資産の変動	1,480,486
①固定資産の減少	403,216
減価償却費・直接資本減耗相当	382,628
除売却相当額	20,588
②固定資産の増加	1,883,702
固定資産形成	1,873,241
無償所管換等	10,461
2. 長期金融資産の変動	593,259
①長期金融資産の減少	96,498
②長期金融資産の増加	689,757
3. 評価・換算差額等の変動	
①評価・換算差額等の減少	
再評価損	
その他評価額等減少	
②評価・換算差額等の増加	
再評価益	
その他評価額等増加	
III. その他の純資産変動の部…(ウ)	△ 1,156,909
1. 開始時未分析残高の増減	△ 1,156,909
2. その他純資産の変動	
その他純資産の減少	
その他純資産の増加	
当期変動額合計 (ア)+(イ)+(ウ)	1,288,848
当期末残高	65,249,735

○純資産変動計算書について

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部に計上されている各項目が、会計期間中にどのように変動したかを表す財務書類です。純資産の増加は、現役世代の負担によって将来世代も利用可能な資産を蓄積したことを表しますので、将来世代の負担が軽減されたことを意味します。

【財源の使途】

市税や補助金等が、どのような目的の財源となったのかを表すのもであり、純経常費用、固定資産形成、長期金融資産形成、その他に分類されます。

【財源の調達】

行政コスト計算書には計上されない資金の流入を表し、税金や国県支出金などが計上されます。

【固定資産の変動】

施設、公園、道路等の固定資産が、会計期間中にどのように増減したのかを表します。

【長期金融資産の変動】

基金、出資金、貸付金等の長期金融資産が、会計期間中にどれだけ増減したのかを表します。

○神埼市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

「当期末残高」652億円から「前期末残高」639億円を差し引いた13億円が、平成25年度の純資産の増加額となります。財源変動の部を見ると、税金や国県補助金等により185億円の財源を調達しましたが、207億円を純経常費用や固定資産の形成等に充てたことが分かります。また、資産形成充当財源変動の部では、固定資産の変動が15億円の増加、長期金融資産の変動が5億9千万円の増加となりました。

なお、「当期末残高」652億円は、貸借対照表の「純資産合計」と一致します。

神崎市 平成25年度財務諸表

④ 単体 資金収支計算書(CF…Cash Flow statement)

(単位:千円)

【経常的収支区分】	金額
I. 経常的収支…(ア)	2,898,057
1. 経常的支出	15,286,176
①経常業務費用支出	6,405,515
人件費支出	2,674,129
物件費支出	1,874,200
経費支出	1,750,917
業務関連費用支出	106,269
②移転支出	8,880,661
他会計への移転支出	
補助金等移転支出	7,105,901
社会保障関係費等移転支出	1,746,316
その他の移転支出	28,444
2. 経常的収入	18,184,233
①租税収入	3,699,611
②社会保険料収入	1,113,641
③経常業務収益収入	1,010,560
業務収益収入	774,885
業務関連収益収入	235,675
④移転収入	12,360,421
他会計からの移転収入	
補助金等移転収入	10,387,487
その他の移転収入	1,972,934
【資本的収支区分】	金額
II. 資本的収支…(イ)	△ 2,465,259
1. 資本的支出	2,594,998
①固定資産形成支出	1,873,241
②長期金融資産形成支出	689,757
③その他の資本形成支出	32,000
2. 資本的収入	129,739
①固定資産売却収入	1,241
②長期金融資産償還収入	96,498
③その他の資本処分収入	32,000
基礎的財政収支 (ア)+(イ)	432,798
【財務的収支区分】	金額
III. 財務的収支	△ 210,637
1. 財務的支出	2,295,672
①支払利息支出	319,485
公債費(利払分)支出	319,231
借入金支払利息支出	254
②元本償還支出	1,976,187
公債費(元本分)支出	1,941,149
公債(短期)元本償還支出	1,941,149
公債元本償還支出	
借入金元本償還支出	
短期借入金元本償還支出	
借入金元本償還支出	
その他の元本償還支出	35,038
2. 財務的収入	2,085,035
①公債発行収入	2,051,100
公債(短期)発行収入	
公債発行収入	2,051,100
②借入金収入	
短期借入金収入	
借入金収入	
③その他の財務的収入	33,935
当期資金収支額 (基礎的財政収支+財務的収支)	222,161
期首資金残高	639,394
期末資金残高	861,555

○資金収支計算書について

資金収支計算書は、一会計期間における、神埼市の行政活動に伴う資金の流れを表した財務書類です。「経常的収支」、「資本的収支」、「財務的収支」という性質の異なる三つの区分に分類して表示します。

【経常的収支】

市の行政活動に伴い経常的・継続的に発生する資金の収支を表します。経常的支出には人件費や物件費、扶助費のほか補助金、交付金などが計上されます。経常的収入には税金、国県支出金、使用料や手数料などが計上されます。

【資本的収支】

市の資本形成活動に伴い、臨時的に発生する資金の収支を表します。資本的支出には工事請負費や公有財産購入費などが計上され、資本的収入には財産売払い収入等が計上されます。

【財務的収支】

市の負債に関する資金の収支を表します。財務的支出には市債の元利償還金などが計上され、財務的収入には市債の発行による収入等が計上されます。

【基礎的財政収支】

プライマリー・バランスとも言い、行政活動に伴う経費を、借入なしに賄うことができているかを判断する指標です。経常的収支と資本的収支により算出され、負債の累積を防ぐためには基礎的財政収支の黒字が必要となります。

○神埼市の状況(金額の表示未満は四捨五入しています。)

「期末資金残高」8億6,156万円から「期首資金残高」6億3,939万円を差し引いた、2億2,216万円が「当期資金収支額」となり、平成25年度における資金の増加を表しています。

「基礎的財政収支」は4億3,280万円の黒字になりました。

平成25年度

神崎市 財務4表『連結』

【基準モデル】

「連結」…………… 神崎市が加入する、脊振共同塵芥処理組合、佐賀中部広域連合、三神地区環境事務組合の財務情報を構成団体間で按分し、神崎市『単体』の財務4表と一本化させた財務4表です。これら神崎市の負担が伴う一部事務組合の財務情報を「連結」させることにより、一部事務組合が持つ資産、負債等を加味した総合的な財務4表となります。

「基準モデル」…………… 民間企業会計の会計事務と考え方を基に、地方自治体の特殊性を加味した財務書類で、開始貸借対照表を固定資産台帳に基づき作成し、現金の取引情報(歳入・歳出)に止まらず、全てのフロー情報(収益・費用・純資産の内部変動)及びストック情報(資産・負債・純資産の期末残高)を網羅的に公正価値で把握した上で、個々の取引情報を発生主義により複式記帳して作成することを前提としたものです。これにより、より精緻な財務諸表の作成が可能となります。

平成27年4月
神崎市総務企画部財政課

神埼市 平成25年度財務諸表

①-1 連結 貸借対照表(BS…Balance Sheet)

(単位:千円)

【資産の部】	金額	【負債の部】	金額
1. 金融資産	8,559,770	1. 流動負債	5,659,657
資金	947,256	未払金及び未払費用	3,267,207
金融資産(資金以外)	7,612,514	前受金及び前受収益	
債権	411,969	賞与引当金	129,673
税等未収金	381,001	賞与引当金	129,673
未収金	46,796	預り金(保管金等)	33,935
貸付金	15,645	公債(短期)	2,227,171
その他の債権		短期借入金	
(控除)貸倒引当金	△ 31,473	その他の流動負債	1,671
有価証券	1,000	2. 非流動負債	23,000,859
投資等	7,199,545	公債	20,293,900
出資金	652,725	借入金	
基金・積立金	6,518,253	責任準備金	
財政調整基金	2,413,153	引当金	2,704,166
減債基金	597,838	退職給付引当金	2,704,166
その他の基金・積立金	3,507,262	損失補償等引当金	
その他の投資	28,567	その他の引当金	
2. 非金融資産	88,559,117	その他の非流動負債	2,793
事業用資産	31,366,006	負債 合計	28,660,516
有形固定資産	31,056,913	【純資産の部】	金額
土地	17,223,892	財源	3,950,800
立木竹	235,511	資産形成充当財源(調達源泉別)	15,739,119
建物	12,540,012	税収	
工作物	408,530	社会保険料	
機械器具	106,517	移転収入	
物品	168,245	公債等	
船舶		その他の財源の調達	14,861,252
航空機		評価・換算差額等	877,867
その他の有形固定資産	4,228	その他の純資産	48,768,452
建設仮勘定	369,978	開始時未分析残高	48,600,883
無形固定資産	309,093	その他の純資産	167,569
地上権		純資産 合計	68,458,371
著作権・特許権	1,643		
ソフトウェア	190,865		
電話加入権			
その他の無形固定資産	116,585		
棚卸資産			
インフラ資産	57,193,111		
公共用財産用地	26,649,070		
公共用財産施設	30,164,463		
その他の公共用財産	56,542		
公共用財産建設仮勘定	323,036		
繰延資産			
資産 合計	97,118,887	負債及び純資産 合計	97,118,887

神埼市 平成25年度財務諸表

②-1 連結 行政コスト計算書(PL…Profit and Loss statement)

(単位:千円)

【経常費用】	金額
1. 経常業務費用	8,386,029
①人件費	2,963,965
議員歳費	87,904
職員給料	1,637,078
賞与引当金繰入	126,497
退職給付費用	137,024
その他の人件費	975,462
②物件費	2,954,019
消耗品費	328,310
維持補修費	1,599,149
減価償却費	757,652
その他の物件費	268,908
③経費	2,014,261
業務費	17,997
委託費	1,699,124
貸倒引当金繰入	23,858
その他の経費	273,282
④業務関連費用	453,784
公債費(利払分)	328,796
借入金支払利息	254
資産売却損	805
その他の業務関連費用	123,929
2. 移転支出	10,115,207
①他会計への移転支出	
②補助金等移転支出	5,654,288
③社会保障関係費等移転支出	4,360,569
④その他の移転支出	100,350
経常費用 合計	18,501,236
【経常収益】	金額
1. 経常業務収益	1,072,135
①業務収益	817,646
自己収入	794,997
その他の業務収益	22,649
②業務関連収益	254,489
受取利息等	11,058
資産売却益	
その他の業務関連収益	243,431
経常収益 合計	1,072,135
純経常行政コスト (経常費用－経常収益)	17,429,101

神崎市 平成25年度財務諸表

③-1 連結 純資産変動計算書(NWM…Net Worth Matrix)

(単位:千円)

前期末残高	67,006,366
I. 財源変動の部…(ア)	369,862
1. 財源の使途	21,118,149
①純経常費用への財源措置	17,429,101
②固定資産形成への財源措置	1,954,753
事業用資産形成への財源措置	705,929
インフラ資産形成への財源措置	1,248,824
③長期金融資産形成への財源措置	740,969
④その他の財源の使途	993,326
直接資本減耗	993,326
その他財源措置	
2. 財源の調達	21,488,011
①税収	3,694,352
②社会保険料	1,643,044
③移転収入	14,232,610
他会計からの移転収入	
補助金等移転収入	11,491,900
国庫支出金	9,833,122
都道府県等支出金	1,658,778
市町村等支出金	
その他の移転収入	2,740,710
④その他の財源調達	1,918,005
固定資産売却収入(元本分)	2,046
長期金融資産償還収入(元本分)	156,909
その他の財源調達	1,759,050
II. 資産形成充当財源変動の部…(イ)	2,071,483
1. 固定資産の変動	1,481,303
①固定資産の減少	558,998
減価償却費・直接資本減耗相当	537,220
除売却相当額	21,778
②固定資産の増加	2,040,301
固定資産形成	1,954,753
無償所管換等	85,548
2. 長期金融資産の変動	590,180
①長期金融資産の減少	156,909
②長期金融資産の増加	747,089
3. 評価・換算差額等の変動	
①評価・換算差額等の減少	
再評価損	
その他評価額等減少	
②評価・換算差額等の増加	
再評価益	
その他評価額等増加	
III. その他の純資産変動の部…(ウ)	△ 989,340
1. 開始時未分析残高の増減	△ 1,156,909
2. その他純資産の変動	167,569
その他純資産の減少	
その他純資産の増加	167,569
当期変動額合計 (ア)+(イ)+(ウ)	1,452,005
当期末残高	68,458,371

神崎市 平成25年度財務諸表

④-1 連結 資金収支計算書(CF…Cash Flow statement)

(単位:千円)

【経常的収支区分】	金額
I. 経常的収支…(ア)	3,013,669
1. 経常的支出	17,620,766
①経常業務費用支出	7,407,564
人件費支出	3,114,883
物件費支出	2,196,367
経費支出	1,990,013
業務関連費用支出	106,301
②移転支出	10,213,202
他会計への移転支出	
補助金等移転支出	5,752,283
社会保障関係費等移転支出	4,360,569
その他の移転支出	100,350
2. 経常的収入	20,634,435
①租税収入	3,699,611
②社会保険料収入	1,654,049
③経常業務収益収入	1,048,166
業務収益収入	794,010
業務関連収益収入	254,156
④移転収入	14,232,609
他会計からの移転収入	
補助金等移転収入	11,491,900
その他の移転収入	2,740,709
【資本的収支区分】	金額
II. 資本的収支…(イ)	△ 2,537,571
1. 資本的支出	2,727,722
①固定資産形成支出	1,954,753
②長期金融資産形成支出	740,969
③その他の資本形成支出	32,000
2. 資本的収入	190,151
①固定資産売却収入	1,241
②長期金融資産償還収入	156,910
③その他の資本処分収入	32,000
基礎的財政収支 (ア)+(イ)	476,098
【財務的収支区分】	金額
III. 財務的収支	△ 212,888
1. 財務的支出	2,453,039
①支払利息支出	329,050
公債費(利払分)支出	328,796
借入金支払利息支出	254
②元本償還支出	2,123,989
公債費(元本分)支出	2,085,929
公債(短期)元本償還支出	2,085,929
公債元本償還支出	
借入金元本償還支出	
短期借入金元本償還支出	
借入金元本償還支出	
その他の元本償還支出	38,060
2. 財務的収入	2,240,151
①公債発行収入	2,167,706
公債(短期)発行収入	
公債発行収入	2,167,706
②借入金収入	
短期借入金収入	
借入金収入	
③その他の財務的収入	72,445
当期資金収支額 (基礎的財政収支+財務的収支)	263,210
期首資金残高	684,046
期末資金残高	947,256